



発行所  
岐阜農林高等学校  
同窓会事務局

TEL <058> 324-1145

http://www.ginou-douso.org/

「指導から支援へ」



岐阜農林高等学校  
学校長 高田 広彦

同窓生の皆様方におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。昨年、十月一日には、創立百二十周年記念式典を盛大に挙行することができました。これもひとえに同窓生の皆様方のご支援の賜物であると重ねてお礼を申し上げます。

四月十日、果樹園の梨の花が満開の中、令和五年度の入学式を挙行了しました。七学科二百八十一名の新入生の入学を許可し、無事に新学期を迎えることができました。今年度は県教育委員会からふるさと教育の一環として「理数教育フラッグシップハイスター

ル」と、「地域の担い手育成総合戦略事業」の研究指定を受けましたので、課題研究やプロジェクト活動を積極的に進めるとともに、地域資源活用や中期インターンシップにも取り組んでいきたいと考えています。

昨年、四月から成人年齢が十八歳に引き下げられ、高校生で大人となることから、何事に対しても主体的に自分で判断できる生徒を育成していくことが大切であると考え、生徒会を中心に校則の見直しを進め、生徒の意見を踏まえて、男子の頭髮の基準を廃止しました。

生徒と教員の関係は、「教

える」といった上下の関係から、「共に学ぶ」横の関係であるべきと考え、今年度から進路指導部、生徒指導部、特活指導部の名称をそれぞれ、進路支援部、生徒支援部、特活支援部と変更し、指導から生徒を支援することに重点を置くこととしました。

この豊かな自然の中で「生命」と「心」と「夢」を育てる学校として、本校の発展に一層努めるとともに、様々な教育活動を通して、生命を慈しみ、他を思いやり、社会に貢献する岐農生、社会人として必要な基礎・基本を身に付けた岐農生、志を高くもち、目標に向かって挑戦し続ける岐農生を育てて参りたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いを申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



購読料 年3回発行(郵税共)  
年1,000円

印刷所  
岐阜文芸社

中衛工業株式会社

代表取締役  
関谷 俊征

岐阜支店  
岐阜市六条南3-6-9  
tel.058-274-8881  
fax.058-274-8860

本社  
名古屋南区鶴里町3-11  
tel.052-811-8111  
fax.052-811-8311

http://www.chuei.com

丸栄コンクリート工業株式会社

明日をかたちづくる

本社  
〒五〇一―六二九三  
岐阜県羽島市福寿町間島一五一八  
TEL (〇五八) 三九三―〇七〇〇



森林総合プランナー  
森林整備・木材生産・造園土木  
株式会社 木の国

代表取締役会長 遠藤 一美  
代表取締役社長 遠藤 雅樹  
技術 参与 遠藤 一二己

本社  
〒502-0812  
岐阜市八代2-7-19  
TEL (058) -231-5112  
FAX (058) -231-4429

支社  
洞戸・山鼻

昭和コンクリート工業グループ  
株式会社 昭和ファーム

〒五〇一―一八一 岐阜市鎌倉七九四番地の1  
TEL (〇五八) 三九一九―四四五

代表取締役 村瀬 大一郎



株式会社 スグスイ住設

代表取締役  
杉山 卓雄  
(昭和54年農卒)

- 給排水空調設備工事
- 住宅水廻りリフォーム
- 住設ショールーム
- 雑貨 ガーデニング 喫茶

〒501-0531  
事務所・ショールーム  
揖斐郡大野町上磯67-1  
☎0585-34-2487



Central Rose Nursery

〒501-004 岐阜県本巣市七五三-1の2F7724  
Phone (058) 324-7203 Fax (058) 324-6277  
代表取締役 大西 隆 (昭和45年農卒) 松 (平成7年工卒)

本校職員の異動

〈退職者〉

長澤 誠 (地歴公民)

川島 茂樹 (農業)

福井 強志 (農業)

長屋 隆信 (理科)

本校常勤講師

中島 孝司 (農業)

本校再任用

岡田 秀樹 (農業)

本校再任用

中山恵美子 (事務部長)

出納管理課で再任用

〈転出者〉

水野 泰孝 (教頭)

恵那農業高校 校長

高橋 範行 (教頭)

高校教育課 教員人事管理監

小森 豊文 (保健体育)

郡上北高校

加藤 守 (農業)

大垣養老高校

子安 弘樹 (農業)

大垣養老高校

藤木 俊之 (農業)

大垣養老高校

林 美希 (農業)

大垣養老高校

上野 和博 (農業)

加茂農林高校

酒井 治 (農業)

大垣養老高校

大坪 太陽 (農業)

飛騨高山高校

細江 愛歩 (養護)

華陽フロンティア高校

神谷 季歩 (事務)

保健医療課

〈転入者〉

福島 洋之 (教頭)

大垣特別支援学校 教頭

中野 輝良 (教頭)

学校支援課 課長補佐兼係長

總山真奈美 (地歴公民)

各務原高校

間宮 瑛基 (保健体育)

多治見工業高校

日比 一吉 (農業)

大垣養老高校

神谷 沙江 (農業)

大垣養老高校

矢井 一輝 (農業)

大垣養老高校

見屋井亮太 (農業)

加茂農林高校

松岡 由樹 (農業)

飛騨高山高校

丸山 紘史 (農業)

新入

洞口由実子 (農業)

新入

山田 洋子 (農業)

大垣養老高校

山本 憲頭 (農業)

大垣養老高校

瀧 晃成 (農業)

郡上高校

瀬 和也 (事務部長)

恵那農業高校

伊藤 由衣 (事務)

岐阜盲学校

ご勇退職員の挨拶

母校での思い出

福井 強志



この度令和5年3月31日をもって退職いたしました。在職中には卒業生の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。岐阜農林では11年の勤務から定年退職後、再任用で5年講師として1年と合計17年間お世話になりました。また前任時は10年間勤務し、高校生の3年間を含めると30年にわたり岐阜農林高校で過ごすことができました。これは私の人生において半分近くの時間を占めるもので、私自身の人

間性や資質を高めることができ、大変有意義な時間だったと思います。

在職時は動物科学科に所属し、養鶏や小動物、馬の総合実習や課題研究に携わることができました。いろいろなことを生徒とともに取り組み、楽しく過ごすことができました。そして農業クラブのプロジェクト発表では全国大会で2回の発表する機会があり、多くを学ぶことができました。

また馬術部の顧問としても携わることができ、12回の全国大会に出場ができました。準優勝1回3位1回の感動の瞬間に生徒とともに喜び合えたことが、よい思い出となっています。このような経験をできたのも、周りの職員の理解や協力があったので、大変感謝しています。

同窓会においては事務局を平成21年から平成27年までの7年間務めました。その間には平成22年に行われた110周年記念事業が行われ、メイの事業は故森山周一郎氏の劇団上演という、私にとって経験したことのないものでありましたが、村橋前同窓会長

の指導のもと、成功裏に終えたことが大きな思い出となっています。今後は岐阜農林から離れますが、同窓生の皆様には母校の発展にご尽力をお願いしたく、退職の挨拶いたします。

ご転出職員の挨拶

同窓生の宝物

教頭 水野 泰孝



この2年間の勤務を含め、岐阜農林高校では、16年間お世話になりました。母校における勤務では、様々な場面で同窓生の皆様にご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

私にとってこの2年間は、大変充実した毎日で、あっという間に過ぎてしまいました。管理職としてのプレッシャーも大きかったのですが、コロナ禍にありながらも、同窓生・地域の方々からの多くのご支援と先生方の活気あふれる指導のもと、生徒が生き生きと生活し勉強や部活動に励む姿

に毎日触れられたことは、教員冥利に尽きる何よりも喜びでありエネルギーとなりました。また、2年延期の未実施された創立120周年記念事業に関われたのは、同窓生として名誉なこと、大きな感動もありました。式典では、感染症の拡大防止対策で校歌斉唱は叶いませんでしたが、吹奏楽部による演奏を14年ぶりに聴き目頭が熱くなりました。また、同窓生の皆さんがマスクの下で校歌を口ずさんでいる姿に「やっぱり校歌は同窓生の誇りなんだ」と深く感動し涙が止まりませんでした。思いおこせば、110周年記念式典の時には、全校生徒が大きな声で校歌を斉唱できるようなスライドに歌詞を入れる予定でしたが、同窓生職員が中心となり様々な練習を仕掛けたことで、そのカンニング用スライドを使うことなく、全校生徒が堂々と大きな声で校歌斉唱をやり遂げ感動したことを思い出します。時代の変化は激しく、価値観も変わっていきませんが、「校歌」という同窓生共通の宝物を今後も大切にしていきたいとあ

らためて感じた次第です。最後にになりましたが、この度の異動で、恵那農業高校へ赴任することとなりました。恵那農業高校は、私の初任地であり、これも何かの縁だと思っています。ここで今一度初心に戻り、岐阜県の農業教育に貢献できるよう頑張る所存です。今後とも、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

**感謝**

酒井 治

岐阜農林高校では、9年間勤務させていただきました。大変多くの方々にお世話になり、感謝の言葉しか見つかりません。この9年間大切にしてきたのは、本校の卒業生である自分にとって、岐阜農林高校は「母校」であるとともに、生徒たちは「後輩」であることを常に考えながら、教育活動に取り組んできました。校内の活動だけでなく、地域の方と交流できる活動も積極的に取り組んでいくための教育効果だけ



酒井 治  
岐阜農林高校では、9年間勤務させていただきました。

でなく、地域の方々から暖かいサポートをしてもらえような学校であることを目指して活動を行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、私たちの活動にも大きなダメージがありました。しかし、限られた教育活動の中、生徒たちにも充実した時間が得られるようにみんなで頑張れたと思っています。

そして、今年度は創立120周年の記念式典や記念事業を行うことができ、その行事に関わることができたことは、本当に充実した年となりました。まだまだ、いろいろな活動に制限がありますが、少しずつ学校や同窓会の活動に元の活気のある状況に戻ることが、次の新しい歴史の始まりだと思っています。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健康とご活躍、そして岐阜農林高校の益々のご発展を心から祈念し、また、お礼の挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございます。

**揖斐川支部活動報告**

(その37)

**ゴルフ同好会**

令和四年は、コロナ禍が年末の第八波まで強弱を繰り返しながら増加し、終息の見通しが見えない年でした。このような状況でしたが、ゴルフ場は換気、消毒、マスク着用等きめ細かく対応されており、署名のペンも一人一人消毒済みのペンを使用するという念の入れ方です。こんな環境の中で、ゴルフ同好会は、お陰様でゴルフを楽しみ、懇親を深めることができました。令和四年度も、当初計画のとおり三回開催できました。成績は次のとおりです。

- 第41回参加者11名
    - 優勝 今西成美 ネット 80
    - 準優勝 横山義明 ネット 80
  - 第42回参加者9名
    - 優勝 香田光義 ネット 71
    - 準優勝 坪井重樹 ネット 75
  - 第43回参加者8名
    - 優勝 横山義明 ネット 78
    - 準優勝 窪田勝文 ネット 79
- 尚、第42回時に、Y・Yさん



(S34卒) 提供の3回目(最終)のカップ取切り戦を開催しました。

取切り戦の結果  
優勝杯 今西 成美さん  
準優勝杯 坪井 重樹さん  
でした。

支部会員の皆様、気軽に参加下さい。お待ちしております。

(記事) 同好会代表  
香田光義 農36)

久しぶりの総会にドキドキしました。令和五年度の総会を三月一七日(金) 地域交流センターはなももで開催しました。本部同窓会大西会長様のご出席を賜り盛会裏に開催



「馬に携わる」  
平成30年 動物科学科卒  
日下部孝政

活躍する同窓生

(記事) 支部幹事長  
林 孝芳 林(41)

できました。大西会長様から百二十周年記念式典の様子を詳細にお話いただき、総会終了後には、本校同窓会事務局にお願いし作成していただいた記念式典のDVDを皆で視聴しました。

総会では、コロナの感染状態をみながら七月に暑気払いを計画し、会員が一堂に会してワイワイ、ガヤガヤできる機会を作ってほしいとの要望がありました。また、年々会員が減少していますので、若い卒業生にも積極的に働きかけ、拡大を図っていかうと話し合われました。

中学生の時、特に将来の夢なども決まっておらず、進路に悩んでいた矢先、たまたま見ていたテレビ番組で馬の魅力に心を奪われました。そして、漠然と馬に乗ってみたいなど思い、県内で唯一馬術部のある岐阜農林高校への進学を決意しました。

入学後の私には、実習で牛や鶏、愛玩動物に触れ、それが終わった後はすぐに乗馬の服に着替えて馬術部の練習に励むというまさに動物漬けの毎日が待っていました。私はそれまで大動物に触れたことが全く無くて、馬に乗ったことも無かったのでそんな毎日

がとても新鮮で刺激的でした。特に初めて馬に乗った時の感動は忘れられません。最初は何度も何度も落馬をし、技術不足で馬に暴走されたりもしましたが、段々馬の上で上手くバランスが取れるようになり、初めて障害を飛んだ時には涙が出るほど嬉しかったことを覚えています。そして、2年生からは主将となり部を引っ張っていく立場を任せられました。その頃には100cm近い高さの障害も飛越できる



ようになり、迎えた3年生最後のインターハイでは、団体メンバーに選ばれました。しかし、結果は僕の2反抗失権(馬が2回障害を飛ばなかった)で1回戦敗退。入場してから失権のベルが鳴るまでの記憶が無いくらい緊張して頭が真っ白になっていました。同期や後輩のみんなには本当に申し訳なく、今でも思い出すほど後悔していますが、その悔しさがバネとなって今に繋がっているように感じます。

勝負の世界なので、必ずしも自分の頑張りが報われるというわけではありませんが、携わっている馬がレースで勝った時は何事にも変え難い喜びを感じ、それが一番のやりがいです。馬術と競馬では大きく異なりますが、馬に乗るといふ点では同じなので、馬術部で培った乗馬の基礎が

創立百二十周年記念研究の紹介

令和4年度に実施された百二十周年記念事業の一環で、各学科に記念研究の助成をして頂きました。今回は5学科の研究内容の概要を紹介します。**流通科学科**  
「じのきらめきプロジェクト」



米の収穫の様子

今とても活きている様に感じます。高校から馬に乗ることを始めて、今年で8年目になりましたが、馬術部の時のような、純粹に馬に乗ることを楽しむ気持ちだけは忘れないでいたいと思います。そして、世界で活躍できる立派なホースマンになれるようこれからも精進して参ります。

北方町の米農家は近年の夏の高温による「コシヒカリ」の品質低下、減収に苦慮していました。対策として国の研究機関(農研機構)が育種し、高温耐性が強く多収で良食味な新品種「じのきらめき」に切り替える決断をしました。しかし農家の皆さんは初めての品種に不安を持っていましたため、私達が農家に先駆け試験栽培を行い、結果を共有し、農家の皆さんに栽培指標を示すための研究を始めました。  
120周年記念助成金から支援をいただき、生育特性、作型、多収性の確認と、毎年

課題を持って研究してきました。今後も、農家と共に地域農業の発展のための研究を進めていきます。

園芸科学科

「文字入りメロン製作」



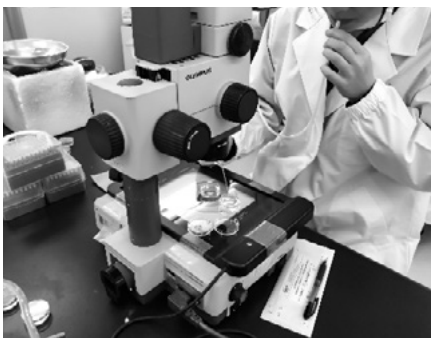
文字入りメロン

園芸科学科では温室メロンを隔離土耕で栽培して、地域の方に好評をいただいております。120周年をお祝いするため、この温室メロンを「文字入りメロン」にしようと考えました。玉はげ期に釘で文字を一つ一つ入れていきます。深すぎるとメロンがカビてしまいますし、浅すぎると文字が出ないということ、適切な文字のサイズと深さについて事前研究を行った後、本番の文字入りメロン製作に

取り組みました。また箱のデザインや、シールについても改良を加えました。最終的に、糖度とサイズの良い理想的なメロンを作ることができ、家庭用、贈答用にと地域の方々に大変好評でした。

動物科学科

「ET研修会」



胚の移動 (ピパッティング)

科目「畜産」「動物バイオテクノロジー」の中で繁殖生理、特に胚(授精卵)移植(ET)に関して学びます。この技術を利用すると、優秀な牛の受精卵をそれほど能力の高くない牛でも移植して産ませれば優秀な牛の子牛が得られ、牛群内の改良を早めることができます。通常では実際に受精卵の回収までの作業

を生徒が見ることはできません。プロジェクト学習でも繁殖成績の向上を目指して取り組みますが、栄養管理以外に繁殖技術で生産性を向上させる方向としての技術の導入を考えるために、この事業を活用させていただきました。今後も岐阜県で唯一の乳牛を飼育する高校として技術の向上に努めます。

森林科学科

「廃菌床の再利用」



企業訪問・施設見学

森林科学科では、シイタケの菌床栽培をしています。菌床栽培農家の課題が、栽培後に出る大量の廃菌床です。堆肥化し田畑に撒いたり利用法はありますが、堆肥にするための環境が整っていないかつ

たり、住民からの匂いのクレーム対応で高額な運搬費、処理費をかけて焼却されたりするのが現実です。そこで私たちは、処分する菌床をもう一度再利用し、新たに菌床として再利用できないかを研究しました。その結果、ヒラタケで十分な収量を確保でき、課題解決に向けた大きな一歩となりました。

環境科学科

「食料生産と生物多様性保全の両立」



生物調査

今後企業や地域と連携し、コスト削減と環境配慮に向けた取り組みをしていきたいと思います。

食料の生産性を優先すると生物を保全しにくくなり、逆

に生物保全を優先すると生産性が低下するという課題があります。私たちは、いかに農家の負担を小さくし、生物保全の効果を最大化できる農法を確立したいと考えており、水田に魚道と江を設置したときの保全効果を検証しています。今年度は、江と魚道を併設すると魚類や両生類、水生昆虫類に対して、繁殖期間が延長する効果、中干しなどの落水に対して水域の分断を回避する効果、越冬場所を提供する効果があることがわかりました。

部活動報告

(2月～4月)

◎相撲部

【全国選抜高等学校相撲弘前大会】

団体戦

予選一回戦

本校1―2日吉ヶ丘

予選二回戦

本校2―1日大東北

予選三回戦

本校2―1目黒日大

予選同点決勝戦

本校2―1三本木農業恵拓

◎水球部(女子)  
 【U17全日本ジュニア水球選手権東海大会】

1 回戦 本校 8-0 本巣松陽  
 2 回戦 本校 5-13 岐阜城北  
 敗者トーナメント  
 2 回戦 本校 4-3 岐阜工業  
 3 回戦 本校 8-1 岐阜東  
 第5位 県大会出場

◎硬式野球部  
 【春季岐阜県高等学校野球岐阜地区大会】

【全国高等学校相撲新人選手権大会】  
 個人戦 三回戦敗退  
 2 N 杉浦 英哲

個人戦 出場  
 2 N 杉浦 英哲  
 2 N 伊勢 力都  
 1 N 田島 徳文  
 1 E 笠松 幸誠

決勝トーナメント一回戦  
 本校 0-3 鳥取城北  
 ベスト16

◎放送部  
 【岐阜地区社会教育視聴覚連絡協議会主催 ビデオ・写真コンクール】  
 優秀賞 2 B 加藤 礼惟  
 2 B 渡邊 琢斗

◎書道部

【全日本高等学校書道コンクール】  
 全日本高等学校書道教育研究会賞  
 1 D 山嶋紗々乃  
 優秀賞 2 F 藤岡妃奈乃  
 優良賞 2 F 清水 彩未

◆ 会員の動向

大西 克  
 (昭和17年農業科卒)  
 令和5年3月31日 ご逝去

令和4年度卒業生 学科別進路状況 (令和5年3月31日)

進路先\学科	流通科学		園芸科学		動物科学		森林科学		環境科学		食品科学		生物工学		合計		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
自営	農業														0	0	0
	直接(進学後)						3								0	3	3
	その他														0	0	0
	計(進学後は除く)														0	0	0
就職	生産技術	1	1		2		1	2		1		2	1		5	6	11
	製造・加工		2		4		1	3	1		2	1	1		6	10	16
	事務		2									2			0	4	4
	販売・営業				2				4						0	6	6
	サービス・飲食							1							1	0	1
	保安														0	0	0
	農林業														0	0	0
	輸送・運輸													1	0	0	0
	建設・測量				1				1	6					7	2	9
	医療・看護・福祉														0	0	0
公務・公団・農協	2	1		2	1		2	1	5				1	11	4	15	
就職準備				1										0	1	1	
計	3	6	0	12	1	2	8	7	12	0	2	5	4	30	33	63	
進学	国公立四大	2	1				2	1		3	2		4	3	10	8	18
	私立四大	7	10	4	4	5	17	9	2	6	1	7	10	16	54	51	105
	国公立短大											2			0	2	2
	私立短大		3		3	1			5	2	1			2	3	20	23
	農業関係学校			2	1		3	1		1	1				4	5	9
	職業訓練校							1							1	0	1
	専修・専門学校	3	5	1	9	2	6	3	2	4	5	2	5		15	33	48
	その他・留学・研修				1				1					1	0	2	2
進学準備								1						0	1	1	
計	12	19	7	18	8	28	15	11	16	10	9	23	20	87	122	209	
卒業生	15	25	7	30	9	30	23	18	28	10	11	28	24	117	155		
	40		37		39		41		38		39		38		272		

注) 進学の「農業関係学校」9名：岐阜県立森林文化アカデミー2名、岐阜県立国際園芸アカデミー3名、帯広畜産大学別科1名、北海道立農業大学校2名、東京農業大学農場技術練習生伊勢原農場1名  
 進学の「職業訓練校」1名：岐阜県立国際たくみアカデミー1名  
 森林科学科の女子1名は就職・進学のため重複あり

### 国公立大学進学者の声を聞く会

本校はこれまでに多くの国公立大学への進学者を輩出しており、大学で学ばれた後には多方面で活躍しておられます。今年度も18名が国公立大学の合格を果たすことができました。

そのような先輩の姿にあらがれ、国公立大学への進学を目指している在校生に対し、大学生活の様子を話してもらいながら、これからの授業や実習での学びに対してのモチベーションをより高め、目標を達成するために、先輩から激励してもらう会を2月に実施しました。

現在国立大学で学んでいる3名の卒業生は、生き生きとした表情で1・2年生からの質問に答え、アドバイスをしてくれました。3名とも「岐阜農林高校で学んできたことが現在の自分をつくり、大学での学びに活かされている」と語ってくれました。

先輩方に続き、今年度も国公立大学への進学を希望する在校生がより多くの「合格」を勝ち取ることができるよう

に指導していきますので、引き続きご支援をお願いいたします。

#### 【参加してくれた同窓生】

鈴木那奈さん

高根大学生物資源科学部3年生

(令和2年動物科学科卒業)

日比野萌琴さん

三重大学生物資源科学部2年生

(令和3年生物工学科卒業)

加藤万椰さん

岡山大学農学部1年生

(令和4年生物工学科卒業)



#### シリーズ「岐農人」①



#### 梅田 由江 さん

(昭和57年生活科卒)

同窓会機関紙「瑞穂」ではこれまでシリーズ企画として「本校の樹木」「本校の野鳥」「本校の実習製品」をご紹介してきましたが、今回から不定期になるかも知れませんが、岐阜地域で働いている農家さんのご紹介をしたいと考えています。

まずは第一弾として、本校の生活科を卒業された梅田由江さんです。夫婦で苺農家をやられていてご主人は昭和55年に園芸科を卒業された梅田久司さん。40年ほど前から苺の栽培を始めて今では4棟のビニールハウスで栽培されているとのこと。ハウスは岐阜市洞にあり面積は2反ほどで、ベンチ栽培をされてみえ

ます。

本校でもベンチ栽培ですが、こちらではコピートを使い養液のコントロールでよい良い生育ができるよう管理されてみえます。岐阜クリーン農業の認定を受けるため減農薬に努め、生物農薬である「チリカブリダニ」を使われているとのこと。農業の経営を安定させるためには、JAさんが推奨されている技術を取り入れることで補助金を充てているとのことでした。

お話を聞いてみて意外だったのは「3月や4月の苺よりも、12月の苺の方がおいしいよ」と勧められたことです。12月は苺の値段が高いため、キーキ用として購入したことがあっても生食用として食べたことはありません。値段は高いですが、12月の苺も一度購入して食べてみたいと思いました。

(文責 山田 伸)

#### 編集余記

令和五年四月から、本校校内幹事である東宏二朗先生が育休に入られました。今社会

問題として少子化が挙げられて久しいですが、今回男性職員が育休を取られるのも昨年度に引き続き二例目となります。

高田校長先生から、私達教員に対しファシリテーターとして生徒に寄り添った支援をするよう話がありました。私が初めてファシリテーターという言葉と出会ったのは今から6年前に全国高校生マイプロジェクトアワードで生徒を引率した時でした。その時に引率した生徒とは卒業後も連絡を取り、本校の生徒へ何らか講演を依頼してもらい、支援する立場から支援してもらう立場になりました。

部活動でも朗読部門で優勝したことがある教員に放送部員の支援をしてもらっています。この二人の教え子はどうやら遅くなるばかりで、定年まで残り2年となった自分から見ると眩しいくらいに輝いていて、ふと自分を振り返る時、まだ教員を続けていてもよいのだろうか？と思う時があります。

昨年度、生物工学科の入学希望者を獲得するためホーム

ページの更新に力を入れてきました。そのためか今年度新入生を迎えた時に、これまでの新入生とは何か違っていると感じました。しかし、本当に変わったのは生徒ではなく自分自身だったのかもしれない。まだまだこの素晴らしい岐阜農林高校で働きたいです。周りを見渡せばほとんどが年下の先生ばかりですが、まだまだ多くの先生方から学ぶことの多い日々を送っています。二回目の岐阜農林高校赴任をきっかけに生徒を呼び捨てにすることを辞めました。これは誰かから言われて辞めた訳ではありません。本校のある先生の姿を見て変わらなければと自分自身で決めました。

新年度を迎え、久しぶりに生徒達と合いワクワクしました。四月十三日に三年ぶりの三学年を体育館に集め交通講話が開かれました。この三年間で学校の在り方を含め社会も大きく変わっています。この変化の中で柔軟に対応し、残り少ない教員生活を自分自身が納得のいくものになりたいと思っています。

紹介

今年度の校内幹事です。



上段 田口 健太  
 廣瀬 大和  
 青木 祐太  
 矢井 一輝  
 見屋井亮太  
 丸山 紘史  
 坂井 葵衣  
 下段 井ノ浦慎司  
 中野教頭  
 高田校長  
 福島教頭  
 辻 浩幸  
 山田 伸

集合写真に同席していませんが、事務 伊藤 由衣含む十五名

百二十周年記念事業実行委員会からのお詫び

百二十周年記念誌の中で部活動の成績結果の一部誤りと坪根実習助手は誤りで、坪根実習教諭が正しいなどのご指摘を頂いております。関係の方には大変ご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした。

金幣社 大井神社

宮司 園部 隆雄 (昭和27年土卒)

〒50110431  
 岐阜県本巣郡北方町北方216  
 電話 (058) 32310630

土木舗装一式請負

郡上舗道株式会社

代表取締役 高橋 勇 (昭和30年農卒)

本社 岐阜県郡上市大和町剣3702  
 電話 (0575) 88-3163 3330  
 郵便番号 501-4612  
 北方営業所 岐阜県本巣市三橋712-1  
 電話 (058) 324-1818 324-7733  
 美濃加茂営業所 岐阜県美濃加茂市太田町字境松  
 電話 (0574) 25-8486

株式会社 松野組

代表取締役社長 松野 守男

本社 岐阜県瑞穂市徳積1330番地  
 〒50110223  
 TEL (058) 32713200 (代)  
 FAX (058) 327157000  
 〒50010802 岐阜営業所  
 岐阜市矢島町1丁目42番地  
 TEL (058) 26611386  
 〒5012112 山県営業所  
 山県市大字西深瀬字蔵前1335番地の1  
 TEL (058) 2212420

東海(水)の  
 県下唯一のメーカー  
 農業用ポリエチレンフィルム  
 東海ポリエチ工業所

岐阜県羽島郡岐南町野中  
 ☎ (058) 246-1313  
 名古屋営業所 名古屋市西区前の川町四丁目  
 ☎ (052) 521-9296

社長 大野 實



建設コンサルタント 株式会社ユニオン

取締役 会長 村橋 元 (昭和37年土卒)

〒501-0106  
 岐阜市西河渡2丁目57  
 電話 (058) 253-3111

支店・営業所  
 名古屋・恵那・高山・郡上・大垣  
 中濃・各務原・羽島・下呂・掛川  
 福井